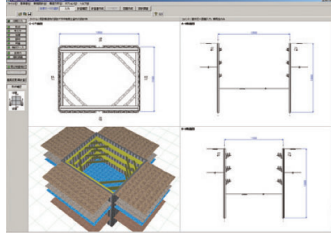
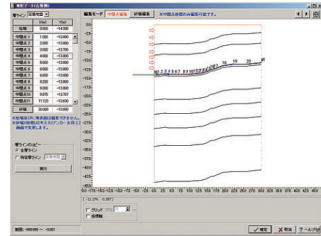


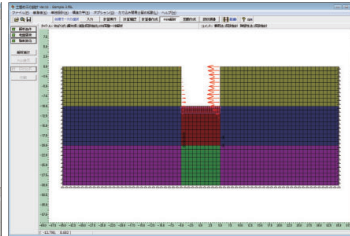
▼メイン画面(構台)



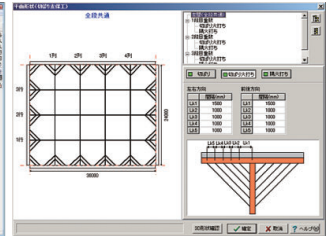
▼アンカー傾斜地盤入力



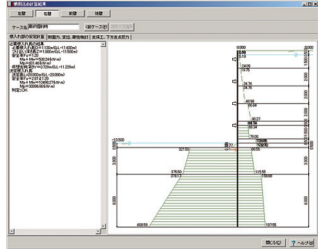
▼FEM解析の両壁モデル



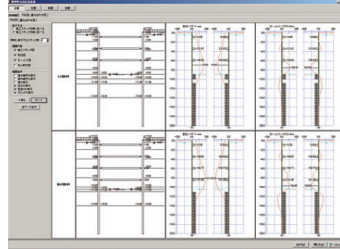
▼鋼製支保工配置入力



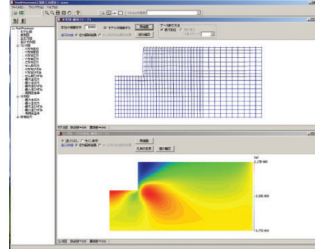
▼メイン画面(構台)



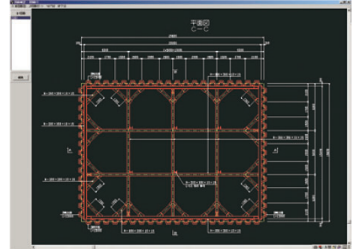
▼弾塑性法計算結果(対比図)



▼FEMPost表示変形図コンタ図



▼図面生成(コンクリート波形矢板)



土留め工の設計・3DCAD(中国基準版) Ver.2

計算・CAD統合

日本語版
¥490,000

中国語版
¥254,000

日本語/中国語

中国基準に対応した土留め工解析・
図面作成プログラム

Windows 7/8/10 対応
3D PDF

中国基準(「建築基坑支護技術規定(JGJ120-99)」)などに準拠。各掘削時ケースの「慣用法」と「弾性(支点)法」による照査に対応しており、掘削底面の安定照査に加え、転倒照査や円形すべり法による全体安定照査を行うことが可能です。

- 掘削平面形状が矩形(最大4壁同時設計)または直線形状(1壁の設計)
- 土圧理論の考え方: 主動側の土被り重量が掘削底面以深は増加しない
- 計算法: 慣用法(根入れ長の計算、断面力の計算、支保工反力の計算、壁体応力度照査) 弾性法(断面力の計算、支保工反力の計算、壁体応力度照査)
- 断面計算、全体安定照査(円形すべり法)が可能

たて込み簡易土留めの設計計算 Ver.3

プログラム価格
¥118,000

たて込み簡易土留設計施工指針に
基づいた設計計算プログラム

Windows 7/8/10 対応
電子納品 3D PDF

土留め工の性能設計計算(弾塑性解析II+) Ver.2

プログラム価格
¥212,000

斜め切ばり等に対応した土留め工の
弾塑性解析プログラム

Windows 7/8/10 対応
電子納品
体験セミナー

たて込み簡易土留設計施工指針 たて込み簡易土留協会(サポートパネル協会)、平成20年9月版または平成30年4月版に基づき、たて込み簡易土留の設計計算を行うものです。

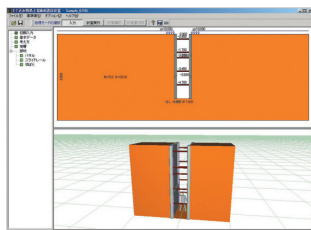
- 対応工法: スライドレール方式、縦梁プレート方式
- 捨ばり施工時の検討: 捨ばり施工時、パネル/プレート、スライドレール/縦梁、最下段切ばり、捨梁の検討
- 縦梁プレート方式の場合、縦梁連結部(シュー)の検討可能
- 長尺管吊り下し区間検討: たて込み簡易土留設計施工指針H18年(旧指針)P.173~P.182に準拠、切ばりの設計に代わり、腹起し、切ばりの検討
- 各社機材データを管理、機材テーブルとして提供、オリジナルデータも登録可能
- スライドレール、縦梁に働く荷重の載荷方法を選択可能
- 縦梁プレート方式の場合、最下段切ばり位置のプレート長手方向の計算可能
- 変端面切ばりの場合、座屈長係数を直接入力可能
- 捨梁の設置位置の指定、捨梁座屈長の任意入力可能
- 粘性土地盤土圧の計算位置を「掘削底面」「土圧上端-5m位置」に指定可能
- スライドレール、縦梁の応力計算での合成応力度の許容値を指定
- 底面安定(ヒービング)は各種基準の方法で計算

Ver.3 改訂内容

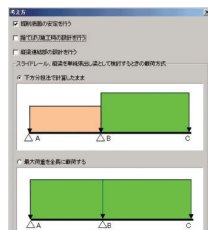
2018年11月2日リリース

1. たて込み簡易土留め設計施工指針-2018年改訂版-(たて込み簡易土留め協会(サポートパネル協会))に対応

▼メイン画面



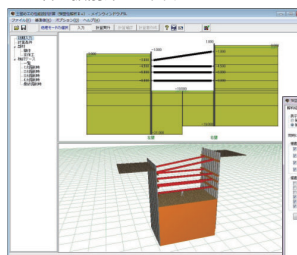
▼考え方



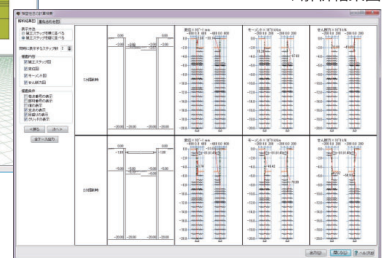
解析法II(Engineer's Studio®を用いた弾塑性解析)を拡張させた弾塑性解析専用のプログラム。「土留め工の設計」では検討できない「斜め切ばり」「切ばり+アンカー併用工での両壁一体解析」「支保工撤去順序の自由化」に対応しています。

- 斜め切ばり: 両壁一体解析の場合、切ばり支保工は剛性部材としてモデル化されますが、本製品では左右の設置位置が異なる場合に対応
- 切ばり+アンカー併用工(両壁一体解析): 両壁一体解析可能、切ばりは剛性部材として、アンカーは支保工パネとしてモデル化
- 両壁一体解析での左右アンカー段数が異なるケース: 切ばり+アンカー併用工での両壁一体解析が可能、段ごとに片側壁アンカーを「設置しない」設定可能
- 支保工の撤去方法の多様化: 撤去順序自由に設定可能
- 解析方法: 各施工段階の構造解析に「Engineer's Studio®」の解析部を使用
- 「非対称バイリニアばね」を適用することにより、変位の方向に応じて主動パネと受働パネに対応可能
- 「荷重分割載荷」と「非対称バイリニアばね」によって弾性範囲を超えたときのパネ反力を上限値に抑えることが可能
- 当該施工段階における荷重のみを載荷、施工段階における変位の方向を評価

▼左右の掘削深さが異なるケース



▼解析結果図



特集・ソリューション

シミュレーション

FEM解析

エンジニアズイット

構造解析・図面

構築上施工

構築下部工

基礎工

仮設工

道路土工

港湾

水工

地盤解析・地盤改良

CAD/CIM

維持管理・地盤リスク

プラント・建築

船舶・遊覧

紹介プログラム

技術サービス・サポート